



「近所の川の水鳥たち」

前川 義信

最近よく雪が降ります。低気圧が発達し、寒波を引き連れてやってきて、雪を降らせているようです。毎朝の気温もマイナスが続いていますのでどうぞご自愛ください。

【水鳥たちとの出会い】

私の記憶では、幼い頃、八木山動物園でクジャクや白鳥を見たような記憶がぼんやりあります。クジャクの広げた羽の大きさにびっくりしていたと思います、白鳥の真白い羽にも感動していたと思います。それから、テレビでの動物番組等で、世界の鳥の変わり種特集のようなもので、珍しい鳥を見ては、興味をそそられていたようです。しかし、図鑑を開いてみるまでには至らなかったです。

【社会人になってからの出会い】

社会人になって教員として勤めたのは、女川の江ノ島でした。そこはウミネコの島といわれている足島のすぐ隣で、当然港にはウミネコがいっぱいでした。ウミネコの卵をゆでた「ゆで卵(本物)」を家庭訪問の折、島民の方からいただいて食べたときは、卵黄が黄色でなく真っ赤だったことを強烈に覚えています。餌からの色素で真っ赤になると聞きました。ニワトリの卵より小型で、カモフラージュのための黒や灰色の斑入りです。

また、2校目に赴任した大郷町の学校では、教頭先生が無栗沼のすぐ近くにお住まいで、2度ほどご自宅にお邪魔しました。そのとき案内された夕方の無栗沼に帰巢するガンやカモ類の数は数万羽、空一面を黒く覆い、圧倒されたことを思い出します。一生忘れられない素晴らしい光景を目と心に焼き付けて私も帰巢しました。

【最近の出会い】

今の自宅(泉区)に引っ越してきたのは30数年前になります。その頃から冬になるとどこからともなく鳥たちの甲高い鳴き声が聞こえてきて、季節をかんじることができました。ただ、家の近所にいることは、その後約10年は知りませんでした。

最近仕事を退職してから七北田川の方から鳴き声が聞こえてきたので、2月11日の朝に散歩がてら側まで行ってみることにしました。

家の裏の堤防沿いに右岸を歩いていると、冠大橋のたもとにカモ類と一緒にいる姿を発見しました。白鳥が約30羽、カモ類が50羽ほどが日中たむろしています。

この日観察できた3種類を紹介します。



オオハクチョウ(ガンカモ科)冬鳥

(クチバシの黄色い模様が大きく目立つ)



オオバン(クイナ科)留鳥

(クチバシから額にかけて白い線がある)



オナガガモ(ガンカモ科)冬鳥

(胸の白い模様が頭の後ろへ細長く伸びる)

<参考文献>

小学館の学習図鑑シリーズ④「鳥類の図鑑」

昭和45年4月20日改訂27版 350円